

# 常任委員会の先進地視察報告

## 総務建設産業常任委員会

最新のごみ処理施設  
と自然エネルギーの  
活用について

視察地 埼玉県川越市  
山梨県北杜市

視察日 10月4日・5日

川越市のごみ処理施設  
「川越資源センター」は  
広大な田畑の中にあり、  
大きな煙突からは煙も出  
ていません。

この施設は「流動床式  
ガス化溶融炉」という方  
式を採用しており、可燃



川越資源センターにて



北杜市にて

ゴミの処理をする熱回収  
施設とリサイクル施設、  
ストックヤード、草木類  
資源化施設と環境プラザ  
で構成され、ボイラーで  
回収した熱で4千キロワ  
ットの発電をし、場内外  
で利用され、昨年は東京  
電力にも売電したそうで  
す。

来年4月には温水ブー  
ルが建設される予定だそ  
うです。

山梨県北杜市の「北杜  
サイト太陽光発電所」は、  
八ヶ岳や南アルプスに囲

ていました。

まれた、美しい山岳景観  
地にあります。  
施設には、9カ国29施  
設、66種類の太陽光パネ  
ルや設備があり、発電能  
力は1千840キロワットで、  
昨年は憐丸紅に売電した  
そうです。  
年間2万人以上の見学  
者が訪れるそうで、太陽  
光発電の関心の高さが伺  
えました。  
今回の視察は、将来の  
伊奈町にとって、大変参  
考になるものでした。

防災行政について

視察地 新潟県小千谷市  
新潟県三条市

視察日 10月12日・13日

小千谷市は、人口3万  
9千人、面積155・1km<sup>2</sup>。

平成16年10月23日に、中  
越地震が発生し、甚大な  
被害を受けました。死者

19人、負傷者785人、家屋  
被害1万890棟のライフラ  
イメガス・上水道・電気が  
数日〜1ヶ月間使用不

能状態にあった。中越地  
震後に小千谷防災計画全  
面見直し（平成16年〜19  
年）をし、その後は随時  
修正をしている。発電機

52台、災害情報伝達手段  
に衛星携帯電話を21台設  
置、FMラジオなど緊急  
割込み放送など採用、被  
災後の先進的取組を感じ

ました。

次に三条市は、人口10  
万4千人、面積432km<sup>2</sup>で平  
野に市街地、山間部は福  
島と接してます。平成16

年7月13日に新潟豪雨で  
大きな被害を受けました。  
市内中心を流れる五十嵐  
川が117mに渡り、破堤し  
死者9人、7千棟余りの  
家屋被害となった。その  
後「災害に強いまちづく  
りをめざして」ハード整  
備として、河川改修事業、  
デジタル系防災無線シス  
テム構築ソフト整備で震  
災対応マニュアルの作  
成、ハザードマップの作  
成など体形を整備し被災  
を今後の施策ベースとし

ていきました。



小千谷市にて



三条市にて